

(注意) A4サイズ・横書き

<活動の様子>



事業名 介助犬・聴導犬の普及と地域社会への教育事業

<目的>

補助犬には目の不自由な人を助ける盲導犬、手足の不自由な人を助ける介助犬、耳の不自由な人を助ける聴導犬の3種類がいることを知ってほしい。そして補助犬は補助犬法によって公共機関への同伴が認められているため街角で補助犬をみかけたら温かく受け入れてもらうことを目的としている

<事業内容>

介助犬、聴導犬の育成と必要とする障害者への提供

補助犬の普及活動（学校や教育機関、福祉イベントなどでの講演）

<市民の参画や他団体との連携>

えひめライフサポート協会主催の福祉イベントに出展。松山市社会福祉協議会の依頼で愛媛国体に向けた四国旅館組合を対象とした補助犬受け入れ講座など開催。

<市民に対するPR>

障害者を助ける介助犬、聴導犬を育成して必要とする人に無償で提供しています。1匹の補助犬が一人前になるまで約2年の歳月と要します。このように育成するには多くの資金と労力が必要なため全国的に頭数もすくなく、愛媛県内では介助犬、聴導犬ともに1匹ずつしか実動していません。まずは補助犬をたくさんの人に知ってもらい補助犬使用者が社会参加しやすい環境を作ることが普及につながります。補助犬を知らない人に一人一人がお話してくれるだけで、認知が広がります。講演会、イベントぜひお声掛けください。そして街で補助犬を見かけたら（補助犬を見つめない、触らない、声をかけない）を守って温かく見守っていただきたいと同時に、補助犬使用者が困っているときは積極的に話かけてあげてください。